

10 図書・学術情報に関する事項

図書館は、各学部、各研究科及び研究所等における教育・学習・研究に必要な学術情報を広くかつ系統的に収集・整理および保存管理をおこない、これらを学生及び教職員の利用に供し、本学の教育・学習・研究活動を支援する中心的機関としての役割を担っている。

学術資料収集においては、各種データベースをはじめとする電子媒体が普及してきている現状を踏まえ、従来の紙媒体に限らない多様な学術情報の収集に努めている。教育活動支援では、学術資料収集とあわせ、学術資料を学生が有効に活用できるように、授業とリンクした利用者教育の展開をおこなう。さらにラーニングコモンズの要素を加味した学習空間を試行的に整備する。研究活動支援では、場所と時間に関係なく利用可能な電子媒体の収集を主眼とし、紙媒体とのバランスの良い収集をめざす。

また、本学における研究成果や学術的価値の高い資料の社会的還元を重視し、学位論文をはじめとした研究成果物ならびに図書館が所蔵する古典籍・貴重資料のデジタル化をおこない、広く学内外へ公開することや、展覧開催による一般市民への資料公開をおこなう。

1 図書・学術情報を活用した教育・学習支援

●ラーニングコモンズ構想の具体化と試行

図書委員会ワーキンググループにおいて検討された図書館の新しい学習支援環境であるラーニングコモンズ構想の具体化を図る。ラーニングコモンズは、印刷資料や電子情報を含む多様な情報資源と情報設備、さらにそれらを活用するための学習空間および人的サービスを統合した学習支援環境であり、その本格的実施には、教学や情報関係部署をはじめとした多くの部署との連携が必要となる。ついては当面は試行的に図書館内にラーニングコモンズの要素を加味した学習空間を設置することにより、将来の本格的実施に備えることとする。

●蔵書構成の充実

本学が設置する学部・学科、研究科の専門分野を視野に入れた蔵書構成の充実を図り、学生の学習用図書及び基本図書を広く収集する。また、各授業の学習を補助する参考文献の受入・排架をおこなう。

●利用者教育の充実

蔵書検索方法を中心とした新生対象の図書館利用説明会の実施や、学習の実態に応じた情報検索講習会を実施する。クラス、ゼミ単位での図書館オリエンテーションの実施についても、これを積極的に展開し、図書館利用に対する学生の意識の向上を図る。

●利用者への情報提供

図書館利用ガイド『LIBRARY GUIDE』（発行：年1回）および図書館報『来・ぶらり』（発行：年2回）を発行するとともに、ホームページを通じて、図書館の利用を促進する情報提供をおこなう。

2 図書・学術情報を活用した研究支援

●電子ジャーナルや学術データベースの収集

各教員の研究活動を支援するため、従来の図書資料に加え、電子ジャーナル、学術データベース等を積極的に導入する。また、より有益な学術情報を導入・提供できるよう、電子媒体資料の導入に関する指針についてその具体化を図る。

●図書館所蔵資料のデジタル化・情報発信

貴重資料保存調査委員会の下で、古典籍デジタルアーカイブ研究センターと連携し、資料保存と情報提供を目的として、図書館が所蔵する資料（古典籍・貴重書等）のデジタル化事業を積極的に推進する。

●学術機関リポジトリの運用

本学の学術研究成果を積極的に電子化し、広くインターネット上に公開する。また、広範な利用者に利用される見やすいWebページづくりを推進するとともに、リポジトリシステムの永続的な管理・運用のための環境を整備する。

●貴重コレクションの充実、整理

引き続き、「長尾文庫」をはじめとした本学が所蔵する貴重コレクションの充実を図る。また貴重書データベース等の整備を図り、教育・研究へのさらなる利用を促進する。

3 図書・学術情報利用環境の整備

●資料保存環境の調査・整備

適切な温湿度の管理と定期的な清掃によりリスク（カビ害・虫害等）を最小限に抑えるというIPM（総合的有害生物管理）の考え方に基づき、各館書庫の調査をおこなうとともに、中長期的な環境整備計画を策定する。また、現在、カビ害が確認されている図書については、計画的に燻蒸とクリーニング処理を実施する。

●日曜開館等の実施

利用実態と利用者ニーズならびに開館に係る費用対効果を踏まえ、2011年度に引き続き、日曜開館等を実施する。また卒業論文作成時期等の開館時間の延長についても適宜実施する。

●適切な資料所蔵スペースの確保検討

深草図書館において、狭隘化した資料所蔵スペースを、利用者利便に合致した形で確保するために、具体的な対応策を策定する。

4 図書・学術資料の公開と施設の開放

●一般市民を対象とした図書館資料の公開

大学関係者をはじめ一般市民を対象として、大宮キャンパス本館展覧室における本学所蔵の貴重書を中心とした展覧を開催するとともに、深草図書館、瀬田図書館においても、所蔵コレクションの定期的なミニ展覧を開催する。

●滋賀県下の高校生等への図書館開放

滋賀県下の県立工業高等学校との高大連携に伴う図書館利用の要請等を踏まえ、大学図書館の地域開放政策の一環

として、従来のREC会員等に加え、期間を定めて滋賀県
下高校生に対して、瀬田図書館を開放する。

● 図書館資料のインターネット上での公開

引き続き「古典籍のデジタルアーカイブ化」ならびに「学

術リポジトリの構築」に努め、各コンテンツをインターネ
ット上で公開し、研究成果や学術的価値の高い資料の社会
的還元をおこなう。